

地区の概要

辰野町川島区は、伊那谷の北に位置し、経ヶ岳を水源とする横川川上流に広がる大自然が魅力の集落です。幅広で東西に開けた地形により、太陽が一日中里山の緑を照らします。

多くの名所があり、特に国天然記念物である蛇石のほか、原生林の中で50mの高さを三段に折れ曲がりながら流れ落ちる三級の滝も人気のスポットです。夏のどろん田バレーボール日本大会、いづりり美しい秋の紅葉まつりといったイベントなど、地域活動も活発に行われています。

近年、辰野町は宝島社が発行する人気雑誌「田舎暮らしの本」(H30.2号)において、“シニアが住みたい田舎部門”で全国第1位を獲得するなど、都会からの注目が高まっていますが、中でも川島区は人気の移住先となっています。

人口・世帯数の推移（各年4月1日時点）

	H28	H29	H30
区人口(人)	737	711	696
世帯数(戸)	311	303	310



地区の取組

川島区

- ・ 地域住民により運営されている組織で、区の組織内に「住民減少対策委員会」を設置するなど、移住者の受入策を積極的に進めています。

川島振興会

- ・ 川島地区の活性化を目的に活動している任意団体です。
- ・ 「紅葉まつり」などのイベント実施をはじめ、地域の環境美化、景観づくりに大変熱心に取り組んでいます。

ふるさと川島 未来協議会

- ・ 移住された方々を含む住民有志が小規模ながらも魅力のある「川島小学校」を盛り上げる活動をしています。
- ・ 教育の勉強会や野外活動など、年間を通じ様々なイベントを実施しています。



移住者から一言



広瀬 美由紀さん

10数年前に神奈川県から移住しました。現在は2歳の娘の子育て中ですが、川島には血のつながりがなくても自分の孫のように可愛がってくれる「じいじ」と「ばあば」がたくさんいて、毎日親子で色々なことを教わりながらともに成長しています。

美しい里山である川島には、我が家が田舎での子育てにあるといいなと思う「山や川」「田んぼや畑」そして「人のあたたかさ」の全てが揃っています。そして何より、小規模校だからこその家族のような雰囲気と川島の自然の中でのびのび学ぶことのできる「川島小学校」があります。

ぜひ私たちと一緒に川島でのびのび子育てしてみませんか？

長野県で30件、三重県で20件ほどの空き家を内覧した中で、人、住環境、建物が一番素晴らしかった川島区に、平成29年秋に京都府から移住しました。

川島を含む辰野町には、若くクリエイティブな人間が自由に立ち回れる時間的・空間的余白があります。今、面白い人達が集まって来つつあり、この流れは今後数年間加速度的に進むと感じています。私も古民家を改装し、音楽があふれる古着のお店をオープンしました (<https://www.oto-to.com/>)

移住支援者の方々のあたたかいサポートもこの流れを後押ししています。

一緒に川島で遊びましょう！お待ちしております。



金井 一記さん

支援者から一言



赤羽 孝太さん

一級建築士事務所
MMMstudio 代表

私は辰野で生まれ育ち、いったんは進学と就職で都会へ出ましたが、故郷で経験や知識を活かして町が楽しくなればと思い数年前に戻ってきました。今は、建築の仕事をしながら、町の移住者支援の取組にも携わっています。

辰野町では、人と人、人と家・仕事をつなぐ取組を積極的に進めており、近年移住される方も増えてきています。知らない土地での生活には不安を感じる方も多いと思いますが、しっかりとサポートいたします！

特に、古民家の改修・改築など住まいに関するご相談はお任せください！



荒井 正輝さん

[川島区住民]

川島区も他の地域と同じように近年少子高齢化が進んできていますが、地域を挙げてその対策に取り組んでいます。最近では特に若いIターンの家庭が増えてきて、地域の活性化につながっていると感じています。これからも町と協力して、I, Uターン対策に積極的に取り組んでまいります。

私も川島区で生まれ育ちましたが、ここは自然にあふれ、人もあたたかな暮らしやすいところです。地域ぐるみで色々なイベントも開催していますので、ぜひ一緒に参加してみませんか？心よりお待ちしております。

もっと詳しく

辰野町まちづくり政策課 Tel 0266-41-1111 (内線2226)

e-mail iju@town.tatsuno.lg.jp

<http://www.tatsuno-life.jp/>

移住・定住応援サイト「たつの暮らし」